



◀白神特産の青果物や花卉をPRしたトップセールス



## JAと行政が大消費地へPR

JAあきた白神

JAあきた白神の特産品『白神ねぎ』、『白神みょうが』、『白神りんどう』を大消費地の関東圏へ売り込もうと、佐藤組合長と齊藤能代市長、成田藤里町副町長が8月27日、28日の2日間、東京都の大田市場などを訪問しトップセールスを行いました。

トップセールスには、JAあきた白神や全農あきた、能代市職員、ミスフレッシュら11名が参加し、白神ねぎのはんでんを着て午前6時からPR活動をしました。試食は、そうめんに『白神ねぎ』と『白神みょうが』を薬味に使い

提供しました。用意した300食はあっという間に無くなる人気ぶりでした。また、成田藤里町副町長は大田花きを訪れ『白神りんどう』のPRをするとともに販売促進の協力を呼び掛けました。

トップセールスを終えて佐藤組合長は「販売額10億円を目指す『白神ねぎ』はもちろん、『白神みょうが』、『白神りんどう』についても力を入れている事を示すことができました。」と話しました。

## イベントを通じて旬のみょうがを堪能

みょうが館

旬の食材である「みょうが」をたくさんの人に食べてもらおうと、JA農産物直売所みょうが館で8月28日、『みょうがの袋詰め放題販売』のイベントを開催しました。

このイベントはみょうがの収穫がピークを迎える時期に毎年行われており、300円で詰め放題と旬のみょうがを大特価で購入できるとして、開店直後から多くの来場者で賑わいました。最高で1.2kgを詰めた方もおり、参加した方は袋いっぱいのみょうがを詰めて大満足の様子でした。今後もみょうが館では月に一回、旬の食材を利用した様々なイベントを開催していきます。



▲大勢の購入客で賑わった袋詰め販売

相馬樓で舞娘さんと記念撮影



## 年金友の会親睦旅行

金融課

JAあきた白神年金友の会（小林啓一会長）の親睦旅行が会員45名の参加のもと、9月2日から1泊2日で開催されました。

1日目は初孫酒造で資料館の見学や日本酒の試飲、加茂水族館などを訪れました。宿泊した由良温泉では、天然温泉やカラオケ、お料理と皆で楽しいひと時を過ごしました。2日目は相馬樓で酒田舞娘の艶やかな演舞の鑑賞、お買い物などを楽しみ、参加した会員の方からは「年金友の会の旅行は毎年楽しみにしています。今年も会員のみなさんと楽しめて大満足です。また来年も参加します」といった喜びの声が聞かれました。

